

このため、宥尾議員が提案者となり、賛同する6名の議員が発議して、決議案の提案となり、賛成8名、反対1名で採択となったものです。

総務文教 常任委員会

4月28日開催された同委員会の概要についてお知らせします。

【住民課関係】

住民課から平成19年度3月末までの町民税、固定資産税、国保税などの収納実態について報告がされました。

委員から「国保税は93%を下まわっており、5月の出納閉鎖期まで収納率をあげなければまたペナルティを受けるが、見とおしはどうか」との問いに、「全力を尽くします」との答えがありました。

【環境センター関係】

紀伊国委員長から「環境センターのごみ焼却施設運転業務の委託関係についての方向付けを審議したい」と発言がありました。委員から「環境センターの委託関係については閉会中の継続調査として議会の議決を経していない。方向付けということとは委員会としての是非を決めることを意味するが、閉会中の継続調査の議決をしていないので調査はできない。報告を受けるということだけになるものであり、それならば報告は受ける」との発言がされ、他の委員も同調しました。

この発言を受けて総務課長は「それなら報告しません」と発言があり、委員から「報告しようとした内容は3月議会での答弁の内容とは異なるのか」との質問に「同じです」と総務課長は答えました。

《その他》

総務課長から「フェリー

会社への接岸料金について、全額免除しているが、町の財政状況から今後の免除のあり方について検討している」との報告がされました。

町村議会議長会 定期総会



北海道議会議長川股会長から表彰状を授与される新村議長

6月5日(木)午後1時

30分から、ポールスタール幌2階ホールにおいて、北海道町村議会議長会(会長川股博)の定期総会が開催されました。その席で、新村議長が7年以上の議長

在任ということ、受賞者となり、更には受賞者の代表受賞者として、表彰状が授与されました。



新村議長から表彰状を伝達される宥尾裕志議員

また、宥尾裕志議員は、15年以上町議会議長在任ということ、同じく北海道町村議会議長会から表彰され、その伝達式を第2回定例会開会前に行いました。

議員研修会

7月1日に札幌で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員10名が

参加し、朝日新聞編集委員の坪井ゆづる氏の『分権改革と地方議会のこれから』、政治評論家の三宅久之氏の『混迷する政局と日本の進路』と題し講演が行われました。



▼坪井氏は、地方議会の現状をデータ解析しながら解説を加え、開かれた議会、民意を忠実に反映させるような議会を目指すべきだとし、女性議員の割合を増やすことや、自治基本条例の制定や住民投票によって決定する制度などの必要性を話されました。



▼三宅氏は、衆議院と参議院のいわゆる「ねじれ国会」によって、政局が混迷を深めていることや日本の人口が減少していることに触れ、人口の増加政策により、経済力を向上させることなどを話されました。



一般質問

保険料の負担増をどう考えているか

青坂 賢二 議員

質問

後期高齢者医療制度が4月から始まり、毎日のように新聞・テレビ等で報道されていますが、扶養家族だった人が新制度になり、新たに保険料が増となるようです。がん検診や人間ドックなど高齢者負担を少しでも支援すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

軽減策が講じられている

和田 良司 町長

答弁

今まで社会保険・共済・健保等の扶養家族であったため、保険料を払っていなかった方も、新たに保険料を負担することになっており、このような方には保険料の軽減策が講じられています。がん検診は、一般の方には約3割の自己負担をお願いしているが、70歳以上の高齢者の方には更にその5割の軽減策を実施しており、また、人間ドックについて



は今年度から特定健康診断が実施されるため、廃止することとなっています。

年度末における財政調整基金の残高とふるさと納税を問う

制野 征男 議員

質問

人口による納税実態と地方交付税の算定との格差が発生している自治体があり、全国的に話題を呼んでいます。奥尻町の実態はどのようなになっているのでしょうか。厳しい財政状況から、「ふるさと納税」と「所得税」の寄付金控除となる町づくりの具体策を講じた寄

付を募る条例の制定を急ぐべきではないですか。

財政調整基金は8千7百万円、ふるさと納税関連は検討中

和田 良司 町長

答弁

平成19年度末で9千6百万円の残高ですが、平成20年度末の財政調整基金は地方交付税の動向にもよりますが、8千7百万円を見込んでいます。減債基金・その他特定した基金の総額では1億7千1百万円の見込みです。「ふるさと納税」の関連では、道のアンケート調査には「検討中」と回答していますが、奥尻町として、「寄付者の寄付金の使途の意向を可能な限り町政にどのように反映できるか」など役場内部に指示していますので、もう少し時間を必要としています。



住民が安心して受診できる体制の確立を急ぐべき

制野 征男 議員

質問

救急車で搬送されても診療を拒否する医師、丁寧な説明をしない医師などで特定な医師に受診が集中している病院の体制は放置できません。「地域の医療を考える会」でも厳しい意見が出されていると聞きますが、町長は離島医療の改善策を説明すべきです。医師の処分、医師の雇用期間など議会で説明した方向で進められているのですか。

処分は訓告に、2名の医師とは1年契約とした

和田 良司 町長

答弁

奥尻の地域医療を考える会の答申があれば、その内

観光振興の中長期の具体的な施策を示せ

制野 征男 議員

質問

奥尻町として観光振興策について中長期の展望と優先策を町長の口から聞き出すことはできません。5年後に7万5千人の観光客の誘致を目指すとしているけれども、町長としての任期は9ヶ月しかありませんが、戦略、戦術について周知されたい。大型バスの復路無料のキャンペーン事業の継続の有無について、いつ結論を出すつもりなのですか。基準年とした平成3年の観光客数よりも、1万人も減少している実態から今後の対応について早急に結論を出す時期にきています。旅行代理店は来年度の商品についてすでに着手しています。

A 医師とは他の医師同様の確認を求めたいと考えていますが、採用からの経緯、損害賠償請求の件もあり、慎重に進めることにしています。



人、自然、食がもてなす奥尻観光が重点目標

和田 良司 町長

答弁

短期、中期の観光戦略の具体的方向として奥尻島観光客倍増プロジェクト、人、自然、食がもてなす奥尻観光を発表し、観光振興の重点目標として取り組んでいます。

これは奥尻町全体の計画であり、その実行と効率的な実施体制を求めるため、官民挙げての組織として、



レジ袋廃止と商店街活性化対策は

制野 征男 議員

質問

推進協議会をたちあげています。大型バスの復路無料の助成事業については、今年度は、来年度以降の必要性を判断するための検証する年度としているもので、過去の経緯と今年度の推移を見て9月中には結論をだしたい。

昨今、地球温暖化、二酸化炭素の削減はもとより、ごみの減量、無駄を省く意識の高揚が図られる中、他管内でも行われている各商店でのレジ袋廃止について商工会に申し入れて協議し各世帯にマイバックを配布する意向を持つべきではないですか。また、商店の活性化対策

として、町長と役場職員のボーナスの5%を商品券で支払うことで活性化を図れと提起しましたが、役場での議論はどのような推移をみているのか伺います。



広く議論できる
環境整備に努める

和田 良司 町長

【答弁】

レジ袋廃止については、地球温暖化防止等国民的関心事となっている現実を踏まえ、即レジ袋の有料、マイバツクの配布ありきでは

なく、町民に広く議論できる環境整備に努めます。また職員の給料を商品券で支給することについては、給与支給の定め等から即実行にならないと考えられますが、職員と共に地元商店の売上向上に協力・努力し、商工会においても、役職員総力をあげて売上向上に努めていただくことを期待しています。

壁画「サムーン」は
緑化し覆いを

制野 征男 議員

【質問】

壁画サムーンは色が薄くなり、最近パネルも剥げ落ちるといふ事態となり、奥尻島の玄関口となる場所からしても、景観上も見苦しく放置できない事態であり、復元するには町にとって負担の費用ではなく、復元せずにネットを張

り、四方から豆科の「くず」をはわせることでサムーンを覆い隠すべきです。

パネルを外すという手法もありますが、樹木で隠すこと、それも極めて少ない経費で実行し、壁画が下に滑落する危険を防止できると思いますが、町長の認識を問います。



撤去し緑地帯として
保全するのが望ましい

和田 良司 町長

【答弁】

町のシンボルとして15年を経過する中で、壁画サム

ーンの損傷は著しく、急斜面に設置されていることから原型を保持するには困難となっているので、この際撤去し緑地帯として保全することが望ましいと思いません。

しかし、壁画を撤去するにしても、町財政の中で実施できる状況ではないので、営林署との協議を十分重ねていかなければならないと考えております。

エスコ事業の
研究・検討を

制野 征男 議員

【質問】

エスコ事業とは、事業者が工場、ビル、官庁などに対して、照明、空調、冷暖房等のエネルギー設備を省エネに改良転換することを提案し、その後の結果までを保証する事業で、設備費用については事業者が負担

し、省エネされた経費の範囲で償還をしていくという方法です。

最近ではエスコ事業の導入を決めた自治体もふえ、老朽化した設備を更新したくともできない財政難の自治体を救う手段として検討に値する方策なので、当町でもエスコ事業を緊急に研究・検討するべきではないですか。

協議し対応したい

和田 良司 町長

【答弁】

エスコ事業について概要は聞き及んでいましたが、詳細については把握していません。しかし、当町では国保病院と奥尻小学校体育館の温風暖房施設が交換の時期にきているので、今後は関係各部署と協議しながら対応したいと考えます。